

Youth Sailing



Japan Junior Yacht Club Union

ユースセーリング

[ジュニアヨット指導書]

No. 89

第30回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ (ミキハウスカップ東京2020) ...2

YSクローズアップ

2019年度

海外セーリング研修報告 パース ... 6

特集

コロナ禍の2020年のクラブ活動 ... 8

特集

佐藤精知夫副会長を偲ぶ ... 12

巻頭言／向かい風も味方に変えて前進！

NPO法人KYG協会 理事長 宇住 晃治 ... 1



発行日／2021.3.1

発行／一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

発行人／伊藤雅宣

編集人／岸野 寛、葛西信一

事務局／〒224-0064 神奈川県横浜市都筑区長坂5-14

TEL: 045-511-8655 FAX: 045-511-8655

e-mail / jjyacht@jjyu.net



レース成績表

(ミキハウスカップ東京2020) ... 11

JJYU NOTICE BOARD

イベントスケジュール、JSAF表彰、他 ... 14

<KYG協会のご案内>

**KYG 協会は、楽しい人生創りを実現する
健康自主管理運動「KYG運動」を推進するNPO法人です。**

K Y G 協会のサービスのご案内

会報誌『ジェネッサ』(年4回発行) 健康づくり情報をお届け



最新の健康、栄養、予防医療・先制医療などの情報を分かりやすくお伝えしています。

[ジェネッサ vol.63]
2020年4月10日発行

【特集】再生医療の現在地
～続・生命科学の進化が
もたらす医療変革～

遺伝子酸化損傷検査など 健康チェックサービス



体の老化と酸化は深く結びついています。遺伝子酸化損傷検査は、体の酸化度を調べる検査です。このほか生活習慣病セルフチェックサービスなども提供しています。

毎月10日ごろ配信 健康情報メルマガ配信



時期に合わせて最新の健康情報や栄養情報を無料で配信しています。是非ご登録ください。

KYG

検 索

<http://kyg.jp>

KYG協会 入会のご案内

皆様の積極的な健康づくりを支援するK Y G協会の活動に、是非ご協力を賜ります様よろしく
お願いいたします。入会頂きますと、会報誌「ジェネッサ」が送付され、各種健康チェックサービスを会員価格でご利用頂けます。

年会費 3,000 円 (入会金なし)

入会書類のご請求／お問合せは **K Y G 協会** まで

NPO法人 KYG協会 TEL:03-5644-0881 (平日9:30～17:30)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-6-6 FAX:03-6745-8981

ライフサイエンス健診クリニック 新型コロナウイルス検査のご案内

ライフサイエンス健診クリニックでは、
新型コロナウイルス抗体検査を行っています。

費用：抗体検査（迅速検査） 8,000 円
抗体定量検査 8,000 円 (全て税別)

※PCR 検査も行っております。詳しくはお問合せください。

症状のない方が
対象です。



お問合せ :03-5652-0808 (月～金 9:00～12:00 14:00～15:30)

東京都中央区日本橋堀留町 2-6-6 小伝馬町駅 5 分 人形町駅 5 分 馬喰横山・馬喰町駅 6 分

巻頭言

味方に変えて前進！

向かい風も

とても便利な時代になりました。インターネットを使えば地球上のあらゆる場所を見ることができますし、仮想空間技術によってさらに現実に近い感覚が得られるようになってきました。しかし一方で、自然との触れ合いやリアルな体験を通じて得られるかけがえのない経験や知恵などを得にくい時代にもなっています。この状況が現代に育つ子供たちに、将来的にどのような影響を与えることになるのか、その功罪は未だ誰にもわかりません。そのような時代において、ヨットを通じて人間関係の構築や国際交流など、リアルな体験の場を子供たちに提供し続けている日本ジュニアヨットクラブ連盟の活動を応援しています。

私も学生の頃からヨットに憧れてクォータートンレースにクルーとして参加したり、ディンギーに乗ったりしていました。ヨットは一つとして同じではない風や波、あるいは潮の流れや天候などに臨機応変に対応して目的地へ向かう難しさ、そして風の向きや強さによって帆を巧みに操り、前に進むことができる面白さがあります。これは生きるうえで、様々な工夫や知恵を駆使して困難に立ち向かうことにも似ています。

大学では生命科学分野を専攻し卒業後は予防医学や公衆衛生に貢献するための事業を立ち上げ、しばらくはヨットから離れていましたが、セーリングクルーザーを所有し、再びヨットを始めて日本はもとより東南アジア、東エーゲ海、ハワイなどでセーリングを楽しむようになりました。大海原でヨットを走らせていると、地球環境や生態系など地球とのつながりについて考えを巡らせることも多く、私たちが地球の一部であるという意識を強く持つようになりました。現在も、地球環境保護や他の生物との共生も私たちの健康づくりの要素であるという理念のもとに健康づくりの輪を広げる活動を進めています。

コロナ禍はまだまだ大変な状況です。しかし、この事態を短期的に捉えるのではなく、新型コロナウイルスがもたらす様々な教訓を受け止めて、将来、人類が向かうべき方向を考えてみると良いと思います。また、今期待されているワクチンは、メッセンジャー RNA という生命活動の根本を担う分子の働きを応用したものです。私たちの体内ではどのようなことが日々行われているのか、そのようなことに興味を持って学ぶにも良い機会だと思います。人生 100 年、向かい風が吹く時もありますが、帆の操作ひとつで向かい風でも前に進むことができるヨットのように、どのような状況も前向きに捉えて歩を止めずに進んでいきたいものです。



NPO法人 KYG協会

理事長

宇住 晃治

実施報告

実行委員長
一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟
理事 **野村 泰造**



カラフルマスクの野村実行委員長

はじめに

令和2年10月18日(日)、第30回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ「ミキハウスカップ東京2020」が東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所に於いて開催されました。

一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下JJYUという)と一般社団法人東京都ヨット連盟の共同主催で、特別協賛を「株式会社ミキハウス様」に頂き、スポーツ庁、外務省、公益財団法人日本セーリング連盟(以下JSAF)の後援を頂きました。若洲ヨット訓練所の管理会社NPO法人マリンプレイス東京、一般社団法人東京都ヨット連盟、

若洲ヨットハーバーで活動されている夢の島ヨットクラブ、江東ジュニアヨットクラブ、中央区ヨット連盟ジュニア部、江東区立小中学校セーリング部の指導者・保護者の皆様の協力を頂いて無事に大会を開催出来たことに御礼申し上げます。

今回のレガッタは新型コロナウイルス感染拡大状況から日本全国でヨットを含めたあらゆるスポーツ大会が中止となる中で、レースに出場したいと熱望するジュニアの為に何としてでも開催するという信念のもと、JSAF、スポーツ庁の指導に沿った大会運営マニュアルに従って、JJYU、NPO法人マリンプレイス東京、一般社団法人東京都ヨット連盟の3者で幾度となく協議を重ねて実現出来た2020年度唯一のJJYU主催の大会となりました。

心配された参加数ですが、北の北海道室蘭セーリング協会をはじめ兵庫県WWユースセーリングの9クラブ33艇(OP級初級者16艇、OP級上級者12艇、レーザー4.7 5艇)のエントリーがありました。クラブの指導者・保護者28名に運営役員・委員35名と総勢96名参加の密を避けた最低限のメンバーでの大会となりました。

運営役員、スタッフは二週間前から健康に留意しソーシャルディスタンスを保ちながら緊張の面持ちで集まり7時30分には、オープンチャットによる初めてのエントリー方式で出席を確認、感染防止対策チェックシートの受付箱への投入で参加受付を行いました。例年通り参加賞としてミキハウス様提供の記念品をお渡ししました。



朝の運営ミーティング



早くから艇の搬入。
何時にお家を出たのかな。



艇装風景



艇装風景



佐藤精知夫元副会長のご冥福をお祈りして黙とう



谷口レース委員長による
スキップーズミーティング



伊藤雅宣 JJYU 副会長
ご挨拶

開会式

8時30分より開会式を行ないました。冒頭に、長い闘病の末に8月にお亡くなりになられた佐藤精知夫 JJYU 元副会長のご冥福をお祈りして黙とうを参加者全員で捧げました。その後伊藤雅宣 JJYU 副会長に開会のご挨拶を頂きまし

た。密を避けての皆様のご協力により、約10分程度の時間で執り行う事が出来ました。開会式に引き続き谷口弘次レース委員長のもとスキップーズミーティングが手短に行われました。

密を避けての開会式



レース

今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先し、レースエリア、コース設定、出艇・帰着申告方法も工夫しての開催となりました。

OP 初級者クラスのレースエリアは通常は若洲ヨット訓練所前ポンド内に設定し、コーチや保護者の声援の中ヨットレースを体験するのですが、今年はポンド内が若洲ヨット訓練所の講習会のために使用できないこともあり、又、JSAF が推奨する無観客での大会運営マニュアルに従い、OP 上級者クラスと同じ若洲沖三枚洲付近海面でレースすることとなりました。

風速コンディションは北の微風と初級者にはとても良かったのですが、前日までの雨天による影響で荒川の流れが強くなり、スタートから1マークまでの上りのコースはかなり厳しいものとなりました。

コース設定はコンパクトな運営を心がけたため、上下のソーセージコースを採用しました。OP 初級者クラスには専用の距離が短い1マークをもう一つ用意し、負担を軽減しました。



いざ出艇！



レーザ 4.7 のスタート

レースはレーザ 4.7、OP 級上級者クラス、OP 級初級者クラスの順でスタートし、レーザ 4.7 は4レース、OP 級上級者クラスと初級者クラスは3レース実施できました。

今大会では荒川の流れと潮流により、UFD やゼネリコはありませんでした。全体的にはスタートラインに到達しない選手が多く、もっと周りを良く見てベストスタートを目指して欲しいと思います。

選手の皆さんが更なるステップアップをし、来年の今大会でお会いできることを期待しております。



OP 級上級者1マークの攻防



余裕のトップ艇 2894



OP 級上級者のスタート



本部船の運営。
忙しいです！

表彰式・閉会式

15 時より表彰式・閉会式を行いました。コロナ禍の中でのレガッタということで開催が危ぶまれましたが、表彰式・閉会式まで良くやってこれたという安堵はあるものの最後まで気を抜かず、参加者全員マスク着用で安全を重視しつつ滞りなくかつ適度の緊張のなかで行われました。

レース講評はレース委員長谷口弘次さんから頂きました。コロナ禍の中で練習も盛ならなかった時期もあったので練習不足だったと思いますが、荒川の流れと潮流の影響によりスタートラインから戻されるため UFD やゼネリコはなかったものの、逆に、スタートラインに到達しない選手が多く、もっと周りを良く見てベストスタートを目指して練習をして欲しいとの注文がありました。

クラブ対抗レース優勝の葉山町セーリング協会



高間博之プロテスト
委員長講評

須長選手のご挨拶



表彰式、閉会式



OP 級初級者優勝の飯田さん



OP 級上級者優勝の中谷さん



レーザ 4.7 優勝の飯塚さん
(左) と上位入賞の皆さん



OP 級初級者上位
入賞の皆さん



高間博之プロテスト委員長からは、今回のレガッタでは抗議が無かったことは素晴らしい大会だったとの講評と同時に、同じクラブの選手同士の間でケースとなる状況がいくつか見られたので気を付けるようにと挨拶がありました。

引き続き表彰式があり成績上位の方々が表彰されました。また三起商工株式会社（ミキハウス）様を代表して2020 東京オリンピック選手の須長由季さんが、練習で多忙の合間を縫って駆け付けて、ジュニア選手や保護者の方々への暖かい勇気の出るお言葉で、参加者皆が元気を頂きました。

皆様の協力により表彰式・閉会式も現状を考慮した短い時間にコンパクトかつ厳かに進める事が出来ました。

■医療救護委員からの報告

非接触型体温計によるスタッフおよび選手、父兄の検温測定を参加受付前に行いました。屋外での風の強い中での測定は、体表温度の低下でうまく測定できなかったため、屋内での測定に変更しました。競技中は、低体温症や外傷の選手もなく無事、終了することができました。

今後も COVID-19 感染拡大の影響は続くと考えられるため、競技会開催には対策を行っていく必要があると考えられます。今回、クラブごとに纏めて感染防止対策チェックシートを提出して頂きましたが、医療救護委員会としては、選手、指導者・保護者、運営役員各個人個人の感染防止対策チェックシートを作成、提出して頂いた方が、より安全に管理できるのではないかと考えます。

2019年度海外セーリング研修報告ーパース

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事 小野澤 秀典

フリーマントルのマリタイムミュージアムの前で記念撮影 前列左から／西田さん、渡邊さん、北浦さん、メグさん、青山指導者、塩野崎指導者、杉田さん、加原さん、松浦さん、神田さん、松原さん、小野澤指導者 後列左から／松浦さん(父)、ウィリアムさん



2019年度の海外セーリング研修は、2020年1月29日から2月5日の8日間、オーストラリアのパース市にある「ロイヤルパースヨットクラブ(RPYC)」をホストクラブとして実施しました。参加者は、葉山町セーリング協会から西田帆七さん・加原弦季さん、夢の島ヨットクラブから神田清琉さん・渡部ひかるさん、江東区立小中学校セーリング部から松原啓悟さん・北浦菜月さん、B&G高松海洋クラブから杉田慧人さん・松浦瑠さん、合計8名のジュニアセーラーと4名の保護者、合計12名でした。

1月29日

成田空港と関西空港から二手に分かれて出発しました。

1月30日

午後1時過ぎにパース空港に到着。空港にはRPYCのマイケルさん、アンドリューさん兄弟そしてクラブオフィサーのクリスさんがそれぞれ車でお迎えに来てくれました。

RPYCに到着後、ホストファミリーのお父さんお母さんと一緒にこれからの滞在先に、それぞれ分かれて向かいました。

1月31日

子供たちは午前10時にRPYCに集合。チャーター艇のOPヨットのセッティングを行いました。11時30分にスワンリバーに出艇、昼食をはさみ午後3時までセーリング練習を行いました。一時は風速10m/s以上になりチン艇もありましたが、良い練習ができたと思います。

RPYCの芝生の上でチャーター艇の艦装



2月1日

いよいよレースの初日です。8時30分からは艇長会議に参加しました。クラブハウスの前に200人の選手や役員が集まり、今日の天候やコース設定、諸注意の説明がありました。終了後に青山コーチ(JJYU理事)からあらためての説明とチームとしての方針を伝えました。

午前中のレースは風がなかなか定まりませんでしたが、5～6m/sの風の中1レースを実施。風の振れをうまく掴んだ西田帆七さんが見事トップフィニッシュしました。

昼食をはさんで午後になると“フリーマントルドクター”と呼ばれるシーブリーズが入ってきます。熱いパースの街に吹きこむ涼しい風が体調に良いことから、ドクターの名前がついているとのこと。

第2レースは8m/sの風で行われましたが、Bクラスは渡部ひかるさんも含めてほぼ全員が完走できなかったため、途中でキャンセルになりハーバーに戻りました。

第3レースは、風も10m/sに上がり、西田帆七さん、北浦菜月さん、松原啓悟さんは何とか中間以上でフィニッシュできましたが、松浦瑠さんと神田清琉さんはリタイア、加原弦季さんと杉田慧人さんは身体が小さいながら頑張って見事完走しました。

レースの本部船(シグナルボート)は自動でフラッグの揚降ができます



初日のレース風景



RPYCの係留ボートの間を抜けて出艇



夢の島YCの神田さんの下マークの回航



レースの合間では地元の子供たちとSUPで遊びます



本場オーストラリアのハンザ級ヨットのレース風景

2月2日

6m/sの風が南から吹くなか、第7レースでは、杉田慧人さんがスタートで出遅れたものの、フィニッシュでは日本チームでトップの5位になりました。

最後の第8レースは、5m/sの順風の中で行われ、北浦菜月さんが見事3位になりました。

レース終了後の表彰式では、敢闘賞を昨日の強風の最終レースでリタイアせずに完走した杉田慧人さんが受賞し、カーボン製のティラーをゲットしました。また、西田帆七さんが総合4位、女子で第1位となり、賞金を受け取りました。表彰式の後に、日本から持ってきていたお土産の配布セレモニーと記念撮影を行い、大いに盛り上がりしました。

2月3日

11時に全員がマリタイムミュージアムに集合し、西オーストラリアの大航海時代から現代に至るまでの歴史と、海洋文化と共に帆船からアメリカのカップのオーストラリアIIまでの船の変遷などの展示を見学、その後は大型潜水艦(全長100m)の艦内ツアーになりました。狭い艦内をゆっくりと見て回り、終わったのは午後の2時近

本場オーストラリアのハンザ級ヨットのレース風景

参加賞のTシャツをいただき
てご機嫌な選手



2月4日

午前中にクレアモントのショッピングモールとパース市内で買い物のあと、午後2時にRPYCのクラブバンで空港に送っていただき、帰路につききました。

今回の研修は、子供たちにとって初めての海外レースとホームステイでした。最初は緊張した面持ちでしたが、すぐにホストファミリーとの生活にも慣れていました。また、強風のレースに頑張ったことで、最後は満足感にあふれ自信もついたのでした。最終日には日本に帰りたくないと子供も出てきたほどです。子供たちはきっと素敵な思い出を胸に、一皮も二皮も脱皮したセーラーになって帰国したと思います。

最後に、最大のホスピタリティで我々を迎え、強風のレースを安全に楽しく運営していただいたロイヤルパースヨットクラブの皆様、子供たちを家族の一員として暖かく受け入れてくださったホストファミリーの皆様に心よりお礼を申し上げます。

以上

3日に電車でフリーマントル駅に着きました



3日にフリーマントルのフィッシャーメンズワーフのシーフードレストランでランチをいただく、女子選手



コロナ禍の2020年のクラブ活動

昨年初めから日本、そして全世界を襲った COVID-19。各地のジュニアヨットクラブも、一斉休校が始まる中で活動停止を余儀なくされ、なんとか練習を再開しても、感染防止に試行錯誤で取り組まねばならず、また、出場できるレース機会が限定されるなど、大変な1年だったと思います。そんな現場のご苦勞を、横浜、葉山、高松で活動するクラブがレポートしてくれました。お読みになった皆さんのこれからのご参考になれば幸いです。また、いつか、こんなこともあったねと、笑い話になればいいなと祈っています。

Takamatsu

B&G 高松海洋クラブ

小野澤 秀典

2020年の3月から急速な感染者の広がりを見せた新型コロナウイルスですが、都心部に比べ比較的感染者が少なかった香川県でも緊急事態宣言を受けて、3月3日から、すべての小中学校、及び高等学校が臨時休校となりました。当然、B&G 高松海洋クラブにおきましても利用施設の高松市ヨットハーバーや香川県ヨット連盟の指導もあり、毎年3月からスタートする2020年のクラブ活動を延期しました。

5月の連休明けから、学校の再開に伴いクラブ活動もスタートしましたが、感染者を未然に防ぐための施策として、3密にならないように当分の間イベント

やレースを中止、県外遠征も禁止し、関係者はマスクの着用を義務付け、ミーティングも屋内から屋外の少人数のクラス別に実施し、手洗い消毒液、体温計等を準備した上でのクラブ活動でした。それでも、コロナ禍の生活でストレスを感じていたのか、多くのクラブ員が参加してくれました。

この期間のクラブの主催行事や参加イベントは以下のとおりでした。

- ・5月から毎週日曜日は通常活動、毎週土曜日は自主活動として練習再開
- ・4月に2回開催予定のヨット体験教室は中止

スポーツ活動継続サポート事業でいただいたマスクを付けて記念撮影



「海と日本プロジェクト」での体験乗船の風景



保護者のトレーナーによるストレッチ講習



ハーバーのスロープを清掃するクラブ員

- ・8月にスポーツ庁のスポーツ事業継続支援補助金を申請
- ・9月の西日本 OP 選手権 (福岡) に12名が参加
- ・その後、県外遠征として、広島シングルハンダー選手権、坊ちゃんカップ (新居浜)、OP 全日本 (蒲郡) などに参加

11月から再度、コロナ感染者の増加によって、以下の対応となっています。

- ・12月の納会兼卒団式の延期
 - ・1月の初乗りセーリングの中止
- 現在、クラブの通常活動は休止中ですが、一部選考レース等に参加する A クラスは、保護者の責任で自主練習のみ行っています。

全般的な傾向ではありますが、このコロナ禍の中で県外へ旅

以上



「海と日本プロジェクト」での記念撮影

Hayama

葉山町セーリング協会

代表 青山 義弘

それぞれ土日の2日に分けることで、全体人数の半分、約30名以下での練習を行うことにしました。

通常、日曜練習としているクラブですが、練習回数に差が生じないよう、コーチの皆さんに理解を求め、6月27日までの1ヶ月、土日両日に参加いただきました。また、1グループに、コーチ1名体制にすることで、陸上でも10名以上が集合することなく、屋外での活動を徹底しました。その後もマスク着用での活動が続きましたが、梅雨、夏の猛暑時の対策は非常に苦勞し、熱中症対策と、コロナ感染予防対策の両立は、別の意味で命がけであったと、今振り返っても、とてもきつかったです。それでも、親御さんからは、自宅待機の長時間化による子供の心身の心配が多く聞かれ、早くに再開し、毎週クラブ活動を行ったことは、間違いなくよかった、と言えます。大会こそ少なく、

発表の場は減りましたが、練習そのものによる子供たちの明るく、楽しげな表情を見るとほっとしました。夏頃には、子供たちの表情も元に戻ってきたように感じましたが、平日の5日間、思いっきり遊ぶことができないことや、家族旅行に行けなくなっている子供たちの心を思い測ると、もっと何か出来ることはないかと考える日々が続きました。クラブとしては、2回目の緊急事態宣言下でも、活動を続けますが、海上での活動に重点を置き、ミーティングなど、陸上での活動は極力



集合時の検温で順番待ち

特集

佐藤精知夫副会長を偲ぶ

昭和 62 年より、JJYU の前身の日本少年ヨット連盟副会長に就任後、平成 3 年 9 月の社団法人認可後も引き続き副会長を勤めてこられた佐藤精知夫氏が、令和 2 年 8 月 12 日にご逝去されました。謹んでお悔みを申し上げます。

石原伸晃 JJYU 会長、安井 JJYU 副会長よりの追悼文を掲載させていただくとともに、佐藤氏のご経歴、JJYU でのご活躍を偲ぶ写真をご紹介します、深く哀悼の意を表させていただきます。



2010 年 5 月
日本少年少女オープンヨット大会 (江ノ島)



表彰式

石原会長（前列右）、安井副会長（後列左）、伊藤副会長（後列右）他の皆さんと

2011 年 2 月
旭日双光章授章お祝いの鏡割り



海外コーチとの記念品交換



2015 年 8 月国際交流
ジュニアヨットクラブ競技会(宮古)



2017 年 8 月国際交流
ジュニアヨットクラブ競技会(若洲)

追悼の言葉

私たちが敬愛してやまない、故佐藤精知夫副会長を偲び、大変悲しい極みですが、謹んで追悼文とさせていただきます。

国際大会では世界各国を、また国内大会では全国各地を精力的に飛び廻り、驚異の健啖ぶりを発揮されていたお姿が、昨日のことの様に思い出されます。

佐藤副会長におかれましては、激動の昭和、平成、令和を、力強く、優しく生きられ、天寿を全うされたと存じます。

私も、初代会長小澤吉太郎先生のご指導のもと、小学生時代、父・慎太郎に連れられ江の島で初めてティラーを握って以来のご縁もあって、現在日本ジュニアヨットクラブ連盟の会長を務めさせていただいております。佐藤家と私とは、親子二代のお付き合いでございました。

JJYU 会長 衆議院議員 石原 伸晃

地元の杉並産業協会という経済団体の会長を、長年お務めいただいております。現在は、ご子息・慎祐さんがその後を継ぎ、勿論ヨットマンである上に、会社と共に杉並産業協会の会長をお務めいただいております。

古来より、「地震・雷・火事・親父」と言われておりますが、熱い頑固おやじのスーパースターでありました。

そして何よりも、どんな時、どんな場所でも規律を大事になさっておられました。

さりながら、少年少女らと向き合うときは、目を細めて優しい微笑みを投げかけていました。

最後に、あえて次のように呼ばせてください。「六（ロク）さん！これから天国から、ある時は強い激励の風を、ある時は優しいそよ風を送り続けてください！」 合掌

故 佐藤副会長を偲ぶ

JJYU 副会長 安井 清

佐藤先輩が財団法人日本ヨット協会普及指導部に招かれたのは昭和 43 年、国体委員会に任命されたのが昭和 45 年、そして昭和 51 年に理事に就任されました。次に理事長職に就かれた昭和 57 年は、日本経済のピークにあって、潤沢な国体予算を、竹下登会長の下で、存分に仕切れ、全国のヨットマンと知己を深められました。

後年（平成 3 年）、小澤吉太郎、奥村純雄両先輩の意志を継いで、日本少年ヨット連盟を文部省（当時）認可の社団法人への格上げを果たされたのは佐藤先輩の卓越した政治力の賜物と申せましょう。

又、自らは補佐役の副会長として、初代会長の小澤吉太郎先生の下で連盟の基盤を固めて、第 2 代会長には郵政大臣を務められた佐藤文正衆議院議員（大分 2 区、故人）、現在の第 3 代会長には石原伸晃衆議院議員（東京 8 区）を口説いて会長に戴くことが出来たのも佐藤先輩のお力でした。

佐藤文正会長のアドバイスに従って、お年玉付き年賀はがきの補助金事業に応募して、毎年 10 艇の救助艇を 8 年間、全国のジュニアヨットクラブに配付する事業が出来たのも佐藤先輩の指導によるものでした。

三十年間、傍にお仕えした私の「佐藤評」は『玄妙人事の巨擘（きょはく）』です。

スポーツ団体に限らず、あらゆる組織は「費用対効果」の観点もあって、地域閥、学閥などを内在させますが、佐藤先輩の人材発掘はまさに玄妙なものでした。即ち、出身校や地域色に偏ることを意識・無意識に避けられたおかげで、我々の連盟内での別派行動の波が立たなかったことは誇りに足るものでした。さらに私たちを驚かせたのは、佐藤先輩の発掘対象が子供や孫世代の各大学 OB や地方の子女に及んでいたことと、その行動観察の玄妙なことでした。組織構成員に必要な経歴・能

2017 年 4 月立教大学にて
卒寿のお祝い会より



力・人脈・人柄等を勘案してのパラエティーに富む風潮は、今なお連盟内に流れていることを彼岸の先輩に感謝しています。

「斗酒なお辞さず」の佐藤先輩が多くのヨットマンを前にして、戦中、戦後の世相の話や、古今東西の歴史話と蘊蓄を傾けて話されていた光景を懐かしく思い出しています。大変な愛妻家であった佐藤先輩ですから、先に逝かれた奥様と彼岸で再会され、九十余年の御生涯につき、手を取り合って語って居られるに違いありません。

謹んで先輩のご冥福を祈り申し上げます。合掌

佐藤精知夫氏のご経歴

昭和 2 年 1 月 6 日	東京都杉並区にて出生
昭和 25 年 12 月	立教大学文学部卒業 体育会ヨット部
昭和 57 年 4 月 ～ 59 年 3 月	財団法人日本ヨット協会理事長
昭和 59 年 4 月 ～ 62 年 3 月	日本少年ヨット連盟理事
昭和 62 年 4 月 ～平成 3 年 8 月	日本少年ヨット連盟副会長
平成 3 年 9 月 ～令和元年 6 月	一般社団法人日本ジュニアヨット連盟副会長
昭和 42 年 4 月 ～ 51 年 3 月	東京都ヨット連盟理事長
昭和 51 年 4 月 ～平成 13 年 3 月	東京都ヨット連盟副会長
平成 13 年 4 月 ～平成 17 年 3 月	東京都ヨット連盟会長
平成 17 年 4 月 ～平成 25 年 3 月	東京都ヨット連盟相談役
平成 25 年 4 月 ～令和 2 年	東京都ヨット連盟名誉会長
平成 22 年 11 月	旭日双光章授章
令和 2 年 8 月 12 日	ご逝去 享年 93 歳

ミキハウスカップより



2014 年 10 月 表彰式



2012 年 10 月 奥様と開会式へ



2018 年 9 月
開会のご挨拶

■2021年度のイベントスケジュール

- 第31回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ
(ミキハウスカップ東京2021)
開催期日：2021年5月3日(日)
開催場所：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所
※優勝クラブには海外セーリング研修派遣資格1名授与の特別賞も予定します
※OP級上級者クラスのレースについては、日本オプティミスト協会に、2021年全日本オプティミストディンギー級セーリング選手権大会出場枠付与の申請をします
- 第9回ジュニアヨットクラブジャンボリー(現時点での予定)
開催期日：2021年8月13日(金)～15日(日)
開催場所：＜海洋活動＞麻生ヨットクラブ及び前面湖面
(行方市天王崎・霞ヶ浦)
＜宿泊施設＞茨城県立白浜自然少年の家
- 第8回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ
(ミキハウスカップ大阪2021)
開催期日：2021年9月5日(日)
開催場所：大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(貝塚市)
※優勝クラブには海外セーリング研修派遣資格1名授与の特別賞も予定します
※OP級上級者クラスのレースについては、日本オプティミスト協会に、2022年全日本オプティミストディンギー級セーリング選手権大会出場枠付与の申請をします
- 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2021
開催期日：2021年9月18日(金)～20日(日)
開催場所：東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所
※国内クラブ対抗レースの上位3クラブには、海外セーリング研修派遣資格各1名授与の特別賞を予定します
※OP級上級者クラスのレースについては、日本オプティミスト協会に、2022年全日本オプティミストディンギー級セーリング選手権大会出場枠付与の申請をします
- 海外セーリング研修
2022年2月ごろ開催予定(日時、場所は今後国際委員会にて検討)
なお、2020年度の研修は、2021年3月のシンガポール開催を検討中ですが、新型コロナウイルスの影響から実施が難しい場合は、22年度との合流も視野に入れて検討します。

■令和2年度連盟会長表彰

令和2年度の表彰は新型コロナウイルスの影響から表彰を見合わせました。

■公益財団法人日本セーリング連盟(JSAF)
令和元年度定期表彰

公益財団法人日本セーリング連盟では毎年定期表彰を各加盟団体の受賞候補者推薦を受けて審査の上で表彰を実施しています。
令和元年度は、JJYU推薦の金矢泰弘氏(松島名取ジュニヨットクラブ)が優秀指導者賞を受賞され、2020年1月25日に開催された全国加盟団体・特別加盟団体代表者会議の席上で表彰式が行なわれました。



河野 JSAF 会長から賞状と記念品の授与



受賞者の記念撮影。前列右が金矢氏

●公認指導員(2021年1月現在)

クラブ名	2017.4.1～2021.3.31		2018.4.1～2022.3.31	2019.4.1～2023.3.31	2020.4.1～2024.3.31
浅虫 JYC	角田 健	17002			
いわき JYC	菊池 邦仁 内田 善啓	17003 17004			
夢の島 YC	林 和之	17001	近藤 哲弘 18001 篠宮 和明 18002 山本 武 18003 渡辺 隆宏 18004		
江東 JYC				阿部 喬 19020 野口 秋男 19021 青木 秀二 19022 滝川 和男 19023	
横浜 JYC				渡辺 浩一 19019	
宜野湾はごろも 海洋少年団			山口千賀子 18013 仲里 宏之 18016	平良 明子 19026	
石垣 JYC				多賀 富治夫 19024	
YMFJYS 葉山			結解 秀哉 18015		
計	(4名)		(7名)	(7名)	(0名)
JJYU 役員			青山 義弘 18006 筒井 洋二 18007 竹腰真紀子 18008 丸山 晴久 18010 岸野 寛 18011 田嶋 明彦 18012 小八木敬義 18014	茅野 信行 19001 安井 清 19002 内藤 武夫 19003 野村 泰造 19004 小野澤秀典 19005 森田 光一 19006 林 幹雄 19007 塩野崎英二 19008 伊藤 雅宣 19009 井上 洋子 19010 葛西 信一 19011 元 憲幸 19012 高間 博之 19013 玉置 純 19014 中根健二郎 19016 滝川 宗一 19017 中川 二郎 19018 浜崎濠次郎 19025	石原 伸晃 20001 原田 浩二 20002 山下 弘雄 20003 佐藤 公俊 20004
	総	計	(4名)	(14名)	(25名)
					(4名)

JYU NOTICE BOARD

■2021年度(令和3年度) 一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟組織

総 会	財務会計 担当 伊藤雅宣	主たる業務			
		財務会計 委員会	特別会員募集 財政・財務管理 会計・予算・決算業務	委員長 伊藤雅宣	副委員長 中根健二郎
理 事 会	総務関係 担当 原田浩二	総務委員会 (事務局)	総会・理事会・委員会開催(案内)・議事録作成 登録クラブ現況把握 正会員・特別会員名簿管理(入退会手続き) 年会費・クラブ負担金等管理・督促 各種書類作成、連絡、発送業務	原田浩二	塩野崎英二 (事務局)
			ユースセーリング発行 広報活動 ユースセーリング掲載広告募集活動 ホームページ管理 連盟史編集(小委員会)	岸野 寛	葛西信一
会 長 石原伸晃	副会長 安井 清 伊藤雅宣 中川二郎	表彰委員会	表彰委員会の開催・議事録作成 表彰候補者の履歴調査 表彰候補者の会長への推薦 JSAF 定期表彰受賞候補者推薦	小野澤秀典	安井 清
専務理事 塩野崎英二	事業関係 担当 筒井洋二	指導育成 委員会	公認指導員認定・更新(指導員証・請求書発行) 指導者講習会開催 指導者育成、出張指導	青山義弘	中川二郎
			後援・協賛団体対応、後援・協賛申請(含JSAF) 文科省、国交省対応、後援・賞状申請 スポーツ振興センター対応、申請	筒井洋二	玉置 純
常務理事 原田浩二 筒井洋二		普及渉外 委員会			
			競技会企画・準備・運営 (実行委員会設定・運営) () 書きは担当責任者	高間博之	筒井洋二 (国際交流競技会)
監 事 茅野信行 滝川宗一		国際委員会	国際交流競技会への外国人招聘 国際交流競技会体験試乗会への外国人招待 ミキハウスカップ体験試乗会への外国人招待 海外セーリング研修	佐藤公俊	小野澤秀典
常任顧問 中根健二郎		地域担当 委員会	地域クラブ、県連担当	山下弘雄	玉置 純
顧問 小松勇一 小野一臣 内藤武夫 小山利男					

Asahi

ずっと受け継がれていく 日本品質

香り

果実などから集めた
香りを使用する。

水

おいしさのために、
磨かれた水を使用する。

非加熱

さわやかな味わいのために、
熱を加えない。



Youth Sailing No.89

- レイアウトデザイン 有限会社 オフィスルナ
- 印刷・製本 有限会社 サムネク
- 編集委員会 連絡先
一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟
ユースセーリング編集委員長 岸野寛
副委員長 葛西信一

〒251-0033
神奈川県藤沢市片瀬山 5-26-1
TEL: 090-9002-6913
e-mail: kishino.h@gmail.com

ユースセーリング No.89をお届けします。

昨年は、2月の海外セーリング研修は実施できたものの、3月の一斉休校から4月、5月は緊急事態宣言発令と、JYUも活動休止状態になってしまいました。掲載する記事がないのでユースセーリングの発行も危ぶまれたのですが、10月にミキハウスカップ東京大会をなんとか開催することができ、発行することに決めました。折角発行するのなら、コロナ禍の指導者、保護者の皆さんのご苦労を共有しようと、特集記事を企画いたしました。JYUとしては、コロナ禍で練習やレースが制限される中、少しでも子供たちが活動できる機会をと模索した一年でした。これからも皆さんのご協力を得ながら、子供たちの喜ぶ姿を糧に頑張ってまいります。
また、長年に亘り日本のヨット界に多大な貢献をしてこられた佐藤精知夫元副会長が昨年8月にご逝去されました。本誌にも特集しておりますが、改めてご冥福をお祈り申し上げます。

スポーツくじ



スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

